

財津一郎さんが母校阿蘇清峰高校でロケ

俳優の財津一郎さんと武田鉄矢さんの二人が、NHKの番組撮影のため、12月18日、阿蘇清峰高校を訪れました。

番組（1月放送）は、ふるさとの思い出を辿りながら故郷の良さを語るというもので、撮影は校舎周辺や春牧牧場で行われました。財津さんは中学から高校1年までを阿蘇市役犬原で過ごしています。

撮影終了後、全校生徒から花束が贈られるなど歓迎を受けた財津さんは「ここで友だちにいじめられていた時に担任の先生が学校の畑と一緒に麦踏みをして、『踏まれた人間ほど強くなる、今は耐えよ、出る時を待て』と励まされた、皆さんもこのすばらしい阿蘇で頑張ってください」と後輩たちに熱いエールを贈りました。



パン!と音上げ各地区で『どんどや』

無病息災や五穀豊穡を願う小正月の行事「どんどや」が1月14日を主に各地区で行われ、パンパンという激しい音が阿蘇地域に響き渡りました。写真は、今年度から山田地域公民館（山本幸助館長）を立ち上げた山田小学校区のどんどやで、館活動として初めての開催となりました。

公民館事業とは文化や体育・レクリエーション等の活動を通じて、地域住民の親睦や交流を目的として、行政区にとらわれない範囲で様々な活動を行うものです。

この日、山田小学校には朝早くから大人も子どもも集まり威勢よく「もちつき」を行い、お昼から大きな「どんどや」を囲み、冬の伝統行事を地域あげて楽しみました。

阿蘇産イチゴで町おこし

さむ〜い2月でも阿蘇谷のハウスの中ではイチゴの収穫がまっさかり。阿蘇は県内有数のイチゴの産地。園芸栽培ではトマトに次ぐ出荷となっています。

この甘くておいしい阿蘇産イチゴをもっと多くの人に味わってもらおうと、内牧の飲食店など16店舗が協力して「Tomaっとベリーな街 いちごの巻」と題したイチゴ創作料理、グッズなどの販売を3月末まで行っています。各店独自のイチゴのアイデア商品を楽しみながら内牧をぶらっと散策してもらおうのがねらいです。

また、はな阿蘇美では広いハウス内で立ったまま収穫できるイチゴ狩りが好評です。これから春過ぎまで採れる阿蘇産イチゴを皆さまの食卓にもどうぞ。



▲「Tomaっとベリーな街 いちごの巻」に取り組む内牧の店舗の皆さん